

2019年度 4EJプロジェクトワークショップ 資料

【テーマ】 通常期: 電気電子工学以外の他分野の人の意見を取り入れたFAX製作の検討
再チャレンジ期: 電気電子工学以外の他分野の人の意見を取り入れたFAX製作の検討
※上記テーマには、1年次と同じ部品を2セット配布します

【グループ】 通常期: 研究室
再チャレンジ期: 通常期に不合格になった者で構成
ファシリテータは研究室指導教員
ファシリテータは後日連絡

回数	通常期	再チャレンジ期	内容
第1回	4月8日(月)15:20～+4時限目 場所: 百周年ホール	8月上旬	合同ガイダンス・ 講義(植野先生)
第2回	4月15日(月) 4時限目 場所: 丹羽ホール		合同講義 講師: 菅藤先生
第3回	(研究室毎に活動) 4月下旬～5月中旬 場所: ファシリテータ(教員)/副 手より連絡	8月中旬～ 9月中旬	グループワーク
第4回			グループワーク
第5回			グループワーク
第6回	5月25日(土) N3・N4時限目 場所: 2503教室	9月下旬	技術士会の方々 と意見交換 (ポスター発表)
第7回～ 第11回	(研究室毎に活動) 5月下旬～7月上旬 場所: ファシリテータ(教員)/副 手より連絡	10月上旬～ 11月上旬	グループワーク
第12回	グループワーク		
第13回	7月中旬 日時と場所: UNIPAにより連絡	11月中旬	第三者評価(教員) (口頭発表)
第14回	7月20日(土) N3・N4時限目 場所: 2501教室、2505教室	11月下旬	他分野評価(技術士会) (口頭発表)

注1) グループワークは100分×9回(あるいは累積900分)以上の実施が必要です。
(積算で計算する場合は、全ての議事録・活動記録に実施時間と累積時間の記入が必要です。)
注2) 輪番で学生が議事録・活動記録を作成してください。

【達成目標】 各グループに与えられた電気電子工学分野における解が1つでない技術設計課題に対して、
(1) 他分野の意見に対して、複数のアプローチ(解決方法案)を考案し、具体的に提示できる。
(2) 考案した複数のアプローチの中から、制約条件などを考慮して論理的な議論に基づき1つを選択できる。
(3) 選択したアプローチに沿って、グループ内のメンバーと協力して、計画立案と課題解決のための具体的な作業を遂行できる。
(4) 選択したアプローチが課題解決に寄与したかどうかを、グループ内のメンバーと協力して評価できる。
(5) 実施過程と結果を、グループ内メンバーと協力して資料にまとめ、第三者に分かりやすく説明できる。
以上の各目標に対して、1項目でも0点がある場合は不合格とする。

【採点】 **欠席が3回以上あった場合: 不合格(通常期、再チャレンジ期ともに)**
※就職活動により欠席する場合は、欠席扱いとする。
欠席が2回以下だった場合: (a)の評価<40%>+(b)の評価<50%>+(c)の評価<10%>で採点する。
(a) グループワークで毎回作成した議事録・活動記録と計画表(作業スケジュール)の内容
(議事録・活動記録は、輪番で学生が作成する。また、計画表も実施資料として必ず作成し、保存する。)
(グループへの採点、達成目標(1)～(4)への評価、10点×4=40点満点、**全評価の40%**)
(b) グループ内の自分以外のメンバーおよびファシリテータからの貢献度評価
(個人への採点、達成目標(1)～(5)への評価、10点×5=50点満点、**全評価の50%**)
(c) 第三者評価会での報告内容
(グループへの採点、達成目標(5)への評価、第三者評価5点、東京電機大学技術士会評価5点、5点×2=10点満点、**全評価の10%**)

【副手】 <役割> 議事録・活動記録、計画表、実施資料の管理、およびファシリテータの補助
安達研: 吉海
植野研: 今澤
加藤研: 宇田
腰塚研: 張
佐藤研: 押見
陶山研: 西牧
高井研: 石上(植野研)
西方研: 馬場(加藤研)
原 研: 堀内
日高研: 加藤
平栗研: 竹田
栢川研: 本山
宮下研: 成田(日高研)
吉田研: 嶋田